

開催報告レポート

PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム発足記念セミナー ～ エンタープライズ分野への PostgreSQL 活用事例 ～

2012.07.06 Fri

去る7月6日に開催いたしました発足記念セミナーには、100名近い方々にお集まりいただき、PostgreSQL に対する関心と期待の高さをあらためて感じるイベントとなりました。

今後も、皆様のご期待に応えられるよう PostgreSQL のエンタープライズ領域での活用推進に役立つ情報を発信して参りますので、引き続き本コンソーシアムの活動に積極的にご参加願えれば幸いです。

PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム 理事長
日本電信電話株式会社 OSS センタ 岩田 雅彦

プログラム

「PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム」 活動内容のご紹介

PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム 運営委員会
日本電気株式会社
白石 雅巳氏

ユーザ 事例

Success Story

ヤマハモーターソリューション株式会社

グローバルレベルでの OSS 基盤の導入と標準化

日本ヒューレット・パッカド株式会社
テクノロジーコンサルティング統括本部
高橋 智雄氏

「PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム」 会員募集と今後の予定

PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム 運営委員会
株式会社アシスト
岸和田 隆氏

ユーザ 事例

Success Story

住友電気工業株式会社

住友電工における PostgreSQL 活用事例

住友電気工業株式会社
情報システム部
中塚 康介氏

オープニング

「PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム」活動内容のご紹介



PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム 運営委員会 日本電気株式会社 白石 雅巳氏

PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム(略称: PGECCons)は、ミッションクリティカル性の高いエンタープライズ領域へ PostgreSQL の普及を推進するため、各種ツールや PostgreSQL 本体に関する利用技術情報の収集と提供、および、その整備などの活動を企業ベースで展開することを目的として、2012年4月11日に設立された団体です。

PostgreSQL を利用したシステム・インテグレーションや技術支援、サポート、教育などのサービスを提供する企業や実際に利用するユーザ企業が発起企業として参画しており、オープンソースならではの取り組みといえます。

主な活動である情報発信、共同検証、開発コミュニティへのフィードバック、開発プロジェクト支援のため、広報部会と技術部会という2つの部会に分かれて活動しています。また、会員を構成する正会員と一般会員のうち、正会員は議決権を持ち、テーマごとに設定されたワーキンググループに参画して具体的な活動を行います。

2012年度の技術部会の活動テーマは「スケールアップ、スケールアウトの性能検証」と「他 RDBMS から PostgreSQL への移行時に必要な検討項目や手順の整備」です。それぞれのテーマに沿ったワーキンググループで積極的に活動する予定です。

また、広報部会では、セミナーや Web で PostgreSQL 導入事例や技術情報を発信していきます。

近日中には PostgreSQL に対応したソフトウェア一覧を公開予定です。



住友電工における PostgreSQL 活用事例：導入のメリットと課題

住友電気工業株式会社 情報システム部 中塚 康介氏

住友電気工業様では 2005 年から PostgreSQL を標準データベースとして全社で利用しています。PostgreSQL 採用の決め手は、オープンソースソフトウェアのメリットである無償での利用やベンダーロックインの回避に加え、製品自体の高機能性やコミュニティ活動の活発度が評価されました。PostgreSQL を利用する上での技術的な課題は、自社開発のフレームワークによる標準化を行ったり、ナレッジ共有の仕組みを整備したり、継続して社内教育を実施することで対応しています。セミナー参加者からは社内教育の点に関心が集まり「社内教育の継続実施

は難しいがどのように対応したのか」という質問に対しては「新人が技術習得し、勉強会形式でフィードバックすることで、講師・受講者双方が技術習得の機会を十分に活用できるよう努めている」といった工夫が伝わってくる質疑応答の場面もありました。また、既存の商用データベースからの移行ではコストを抑えるため、改修対象の SQL を特定できる移行支援ツールを開発し、活用しています。



スケールメリットを活かす **全社展開**

グローバルレベルでの OSS 基盤の導入と標準化

日本ヒューレット・パカード株式会社 テクノロジーコンサルティング統括本部 高橋 智雄氏

海外比率の高いヤマハ発動機グループのシステム子会社であるヤマハモーターソリューション株式会社様では、海外の各拠点また業務領域ごとにバラバラに構築された IT システムの標準化および統合化という長年の課題に取り組むため、2007 年に標準化イニシアティブを発足し、移植性、保守性、信頼性の高い標準システムの構築に着手しました。2008 年から商用製品を使用したアプリケーション開発がスタートしましたが、2009 年に当初の目的をもとに稼働環境の再検討を行い、オープンソースソフトウェアを全面採用することになりました。選定されたのは OS は Red Hat Enterprise Linux (※1)、アプリケーションサーバは JBoss (※2)、そして RDBMS は PostgreSQL です。PostgreSQL を選択した理由として、日本語マニュアルが整備されているなど情報量が多い点、すでに使用していた開発言語と PostgreSQL の手続き型言語である PL/pgSQL が似ていた点、技術支援や保守サポートを提供する **オープンソースソフトウェア採用のハードルを下げる標準化**

ベンダの存在などが挙げられました。そして 2011 年に PostgreSQL を標準データベースとして、クラスタ構成やパラメータの推奨値の策定、そして監視やバックアップ、障害の対応手順やアプリケーション移行ガイドラインを整備して標準化を推進していきました。また並行して既存システムを順次標準システムへと移行しています。現在、シンガポールのデータセンターでは 100 台規模のサーバ上で標準システムが稼動していますが、従来システムと比較しても非常に安定して稼動しており、オープンソースソフトウェアの信頼性は商用製品と比べても遜色ないと評価しています。今後、海外の各拠点において業務システムの移行が予定されています。



(※1) Red Hat Enterprise Linux は、レッドハット社により開発・販売されている業務向けの Linux ディストリビューションです。
(※2) Jboss は、JBoss.org コミュニティにより開発・提供されているオープンソースのアプリケーションサーバです。

「PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム」会員募集と今後の予定

PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム 運営委員会 株式会社アシスト 岸和田 隆氏

本セミナーでご紹介した住友電気工業様とヤマハモーターソリューション様の活用事例で共通しているのは、スケールメリットを活かす「全社展開」とオープンソースソフトウェア採用のハードルを下げる「標準化」の 2 点です。加えてソースコードが公開されているオープンソースソフトウェアの大きな強みを活かすことで、持続可能な情報システムに必要な「しっかりとした基本構造」を構成できると考えています。(出典:オージス総研「百年アーキテクチャ」)
近年、さまざまな業種、また領域で PostgreSQL を採用する企業が増えていますが、先進的に PostgreSQL を活用する企業だけでなく、一般企業でも安心して PostgreSQL を利用できる環境を整備するために、PGECons は

今後も広報部会、技術部会を通じて有用な情報を発信していきます。PGECons の活動に賛同して下さる方の会員登録をお待ちしています。



持続可能な情報システムに必要な **しっかりとした基本構造**

PostgreSQL エンタープライズ・コンソーシアム
事務局
SRA OSS,Inc. 日本支社内
<http://www.pgecons.org>



PGECons
PostgreSQL Enterprise Consortium